

近畿運輸局へ要請行動を行う!

8月27日、JR総連近畿地協は、国土交通省・近畿運輸局に対して「安全問題について」の要請行動を行いました。当日は、JR西労やJR貨物労組の仲間とともに、JR東海労から新幹線関西地本の5名が参加しました。要請行動に対して、近畿運輸局側は安全指導課長をはじめ4名の担当官が対応し、JR東海労新幹線地本の参加者からJR東海会社における乗務員職場の実態を訴えました。

異常な職場実態を訴える!

参加したJR東海労新幹線地本の仲間からは、「JR東海会社の安全に対する姿勢は乗務員に対して懲罰的であり、福知山線脱線事故以前のJR西日本会社以上である。それは、まさに社員への責任追及の姿勢であり、世界的に原因究明へと考えが広がっている中で、逆行している。」と訴えました。

具体的な現実には起きている事象として①乗務停止による「日勤教育」について、②「再教育」の名による運転士剥奪について、③社員の監視や威圧行為について、④パワーハラスメント行為について、⑤点呼・添乗の些細なことによる期末手当のカットについて等々の異常な労務管理と安全上問題である職場の実態を明らかにしました。

「職場実態を再確認する」「指導すべきは指導する」!

私たちの訴えた職場の実態について、近畿運輸局の担当官は熱心に聞き入り、疑問点などの意見交換を行い、「現地へ行き再確認する」「指導しなければならないことは指導したい」と、JR東海会社に対して事実関係を確認することを明らかにしました。